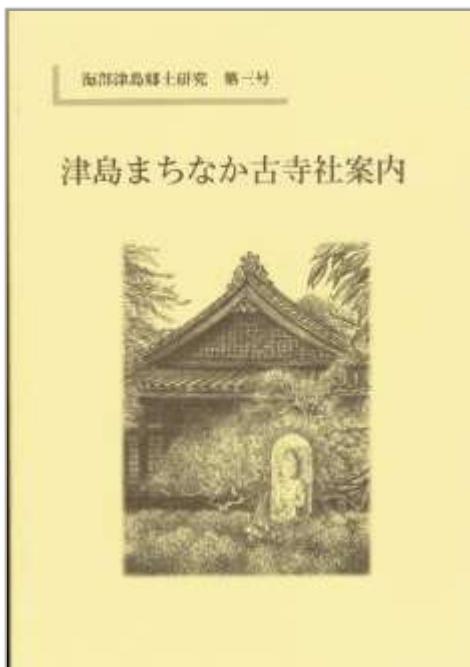


『海部津島郷土研究 第三号 津島まちなか古寺社案内』

サイズ：A5版 ページ数：152ページ



津島市は、名鉄津島駅から津島神社までの地域を「津島市まちなか歴史・文化地区」として、歴史・文化資源等の活用による活力・にぎわいの再生の事業を進めています。この歴史・文化地区は江戸時代の津島村本郷とほぼ重なり合います。すなわち、この地区には古寺が31ヶ寺あります。

津島ガイドボランティアの古参メンバー5人で資料・文献を揃え、寺院を訪れて聞き取り調査し、歴史・由緒を書きあげました。54ヶ寺あった寺院は、現在31寺になっていますが、古寺としての風格を持った魅力ある寺院ばかりです。古寺調査の途中から、神社についても調べて書く方針になり、神社10社と地蔵堂、西光寺、十王堂を加えた番外寺社は13ヶ所となりました。古寺54、番外寺社13、合せて67の古寺社について記述しました。

編集にあたっては、地域の歴史入門者、小中学校の児童生徒にも理解できるよう、分かりやすい文章にし、読みづらい用語にはふりがなを付け、活字も大きくしました。本書が、津島を訪れた観光客を案内する皆さんや、もっと自分の町を知りたいと思われる市民の方々に役立てば幸いです。

構成

- 1 津島まちなか古寺群
- 2 津島まちなか古寺社由緒

付図 延享5年（1748）「海西郡津島之図」・『張州雑志』「津島邑之図」
天保5年（1844）「津島村絵図」・『尾張名所図会』「津島の惣図」

発行日：平成30年（2018）3月26日

監修：天王文化塾

著者：黒田剛司・大橋忠彦・耕井敏子・岩崎勝明 写真：林誠三郎

発行所：NPO法人まちづくり津島、一般社団法人津島市観光協会

価格：800円（税込） 送料：210円